



豊平・西区

■診療科目／
内科・胃腸内科・消化器内科
■診療時間／
9:30～12:30・14:00～19:30
(土日祝は17:00)

年末年始・GW・お盆等を除く
年間355日診療



医療法人社団
慈 昂 会

土・日・祝も
17:00まで診療

医療法人社団 **慈 昂 会**

福住内科クリニック ☎836-3531
札幌市豊平区福住2条1丁目 イトーヨーカドー福住店5F 駐車場有

琴似駅前内科クリニック ☎622-3531
札幌市西区琴似2条1丁目 琴似タワープラザ2F (JR琴似駅南側) 駐車場有

地下鉄「福住」駅 直結・JR「琴似」駅 直結

<http://jkkai.com/>

重要性が高まる 内視鏡検査・治療

福住内科クリニック
院長 田中 浩

胃がんのほとんどはピロリ菌が原因の感染症です。感染すると必ず慢性萎縮性胃炎になり、その一部が潰瘍や胃がんになります。2013年2月から内視鏡検査で慢性胃炎と診断された人は、健康保険でピロリ菌検査と除菌治療が受けられるようになりました。

ピロリ菌は3つの薬を二週間飲めば、除菌できます。一次除菌の成功率は8割に満たない程度ですが、二次除菌まで行くと大半の人が除菌に成功します。萎縮性胃炎まで進むと、すでにがんの芽ができているかもしれないので、除菌後も年に一度、内視鏡検査が必要です。もし内視鏡検査でがんが見つかったも早い段階であれば、内視鏡治療や外科手術で完治する可能性は高いです。こうすれば、胃がんで命を落とすことはほとんどありません。

部位別がん死亡者数で将来は最多になるとの予想もあるのが大腸がんです。早期に発見すれば、内視鏡治療や腹腔鏡下手術などで治る可能性が高いのですが、早期がんでは特定の自覚症状がないため、定期的な内視鏡検査が早期発見に最も有効な手段です。残念ながら便潜血検査だけでは大腸がんがないと診断することはできません。最近の大腸内視鏡検査は苦痛もなく、短時間で終わるのが普通です。体に異常がなくても40歳を過ぎたら一度は内視鏡検査を受け、その後は3年に一度を目安に検診を受けることをお勧めします。